

平成24年行政事業レビューシート					環境省			
事業名	環境表示の信頼性確保のための検証事業費		担当部署	総合環境政策局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度		担当課室	環境経済課	環境経済課長 大熊 一寛			
会計区分	一般会計		施策名	8-1 経済のグリーン化の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	グリーン購入法第14条、附則第2項		関係する計画、通知等	環境基本計画 第2次循環型社会形成推進基本計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	古紙配合率偽装問題に端を発する一連の偽装により低下している環境表示に対する信頼性を回復させ、グリーン購入を拡大させるために、グリーン購入法に基づく特定調達品目を製造する企業が、環境表示の信頼性を担保するための手法を確立し、その手法を用いた検証を実施するとともに、将来的に企業、消費者の取組みで信頼性の高いグリーン購入市場を実現する手法を検討する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	一般競争入札(総合評価落札方式)で、以下の内容を実施。 ①信頼性確保のための調査手法の検討及び検証(再生プラスチック配合率) ②グリーン購入の普及拡大に不可欠な特定調達品目の信頼性確保に資するため、基本方針に掲載された品目について、調査手法、検証手法などを調査、検討し、環境表示のガイドラインとしてとりまとめ ③国内の環境ラベル等の信頼性確保方策の調査 ④調達者の環境情報確認の信頼性向上方策							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	300	205	122	28	12	
	執行額	219	158	69				
	執行率(%)	73.0	77.2	56.9				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (27年度)
	地方公共団体におけるグリーン購入実施率(%)		成果実績	%	73.1	73.8	78.6	100.0
			達成度	%	73.1	73.8	78.6	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	検討会・WGの開催回数		活動実績 (当初見込み)	回	8	11 (12)	16 (13)	— (12)
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠	本事業は特定調達品目選定調査や地方公共団体のグリーン購入調査を実施しており、検討会・WG開催回数などの費用から単位あたりのコストを算出することは困難である。				
平成24・25年度 予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査費	28	12	事業の進捗状況に合わせ、不要・不急な事業に関しては要求しないこととし、要求額を削減した。				
	計	28	12					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	古紙配合率偽装問題に端を発する事業であり、環境表示に対する信頼性の確保は、国民にとっても、商品を選択する上で重要であり、国としての信頼性の確保が求められている。 また、同問題は、業界団体等で組織的に取り組まれた問題であり、国が統一的な施策を打ち出す必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先の選定にあたっては、一般競争入札の総合評価落札方式を採用している。広く入札への参加を促し、競争性の確保を行っている。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	成果実績については、毎年度着実に伸びている。 また、活動実績についても、毎年見込みにあつた活動実績となっている。 成果物についても、環境表示の信頼性確保のためのセミナー等で適切に活用されている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>試験実施状況、調査結果、検討結果については、業務内の検討会で報告されていることから、事業実施現場の状況やその内容、深度等は適宜適切に把握できていると考えている。 また、環境ラベル等の信頼性確保方策についても、業務内の検討会で報告されていることから、事業実施現場の状況やその内容、深度等は適宜適切に把握できていると考えている。 なお、本事業で検討した手法を活用することにより、将来的に消費者や事業者の自主的な取り組みへと転換することが可能となる。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善	<p>執行率の低さについて、十分な検討が必要。過去4年間の活動実績を踏まえて、平成25年度に取り組むべき課題を明確にするとともに、概算要求額は必要最小限となるよう精査すること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	<p>過去の活動実績を踏まえ、不要な要求をしないこととし、必要最小限の要求とすることによって要求額を削減した。</p>		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	228	平成23年行政事業レビュー	236

※平成23年度実績を記入

環境省
69百万円



【総合評価入札・請負】
A. (株)三菱総合研究所
69百万円

信頼性確保のための調査手法の検討
及び検証、ガイドライン策定

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.(株)三菱総合研究所			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
		69			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 本業務は、請負契約であり成果物の対価として支払いを行う者であるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ、回答を得ることができなかった。 </div>					
計		69	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)三菱総合研究所	信頼性確保のための調査手法の検討及び検証、ガイドライン策定	69	1	